



<取材のお願い>

2025年1月14日

九州大学

国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）

さくらサイエンスプログラム推進本部

国際青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプログラム）

九州大学が2024年度開始の「相補的年間交流コース」に初採択

～アフリカの若手研究者と農作物の監視技術や無線通信技術の共同研究を目指す～

九州大学では1月中旬～1月下旬、ジョモケニヤッタ農工大学（JKUAT、ケニア）とエジプト日本科学技術大学（E-JUST）より大学生1名、大学院生1名、教員4名、計6名を招へいし、「ドローンによる農作物の監視技術とその基盤となる無線通信・センシング技術の研究」をテーマとした国際交流プログラムを実施します。

本プログラムは、科学技術振興機構（JST）主催の「国際青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプログラム）」（注1）の中で、2024年度開始の「相補的年間交流コース」（注2）に初めて採択された3件のうちの1つです。

世界的な人口増加や気候変動に伴い、穀物生産量の増大および安定供給は持続可能な社会を構築するための課題の1つです。この課題を解決するには、農作物の生育状況を効率的に監視する技術や、その基盤となる通信技術およびドローン等の撮像技術の確立が不可欠です。

本プログラムは、ケニアとエジプトの若手研究者を九州大学に招へいし、さらに九州大学の若手研究者をケニアに派遣して人材交流を行うことで、日本とアフリカの通信・農工分野の若手研究者の育成と、共同研究の推進に向けた関係構築・強化の両立を目的とします。

具体的には、JKUAT（ケニア）の若手研究者が1月13日（月）～1月23日（木）、E-JUST（エジプト）の若手研究者が1月18日（土）～1月30日（木）に九州大学を訪れ、共同研究の実施に向けて今後の方針や研究の方向性について協議します。九州大学とE-JUST（エジプト）は「通信プロトコル設計」に関する10年以上の共同研究実績を有し、今回新たにJKUAT（ケニア）の研究者と連携することで「ドローンによる農作物の監視技術とその基盤となる通信技術」を主テーマとした共同研究体制の構築に取り組みます。さらに、九州大学の研究室や研究設備等の見学のほか、本研究テーマと関連した分野の研究者を講師として招き、技術交流会を開催します。

そして2月は3校（九州大学、JKUAT、E-JUST）によるオンライン交流でそれぞれの研究との融合・展開を図り、3月初旬には九州大学の若手研究者がJKUAT（ケニア）を訪問して3校の関係強化を図ります。

本プログラムで招へい・派遣による対面やオンライン交流を行うことで、国際共同研究の展開に向けた継続的かつ密接な関係を築くことや、国際頭脳循環の促進が期待できます。



注1「国際青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプログラム）」：科学技術分野における日本と海外の青少年の国際交流を推進する、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の事業です。一般公募プログラムでは大学等の日本の機関が作成する科学技術体験、共同研究、科学技術研修、相補的年間交流に関する青少年の国際交流計画の実施経費を JST が支援します。 <https://ssp.jst.go.jp/>



注2「相補的年間交流コース」：「国際青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプログラム）」の一般公募プログラムの中で 2024 年度に開始したコースで、インド・アフリカ諸国を対象に、これまでに培ってきた人材交流の取り組みの経験を有し、一定の交流基盤が構築されている両国の機関が共通に掲げる研究・教育に係る目標（ゴール）に向けて実施内容や目標を共有した上で、合意形成を図り、効果的な双方向の交流を実施するものです。今までのさくらサイエンスプログラムは、海外から日本への招へいのみが対象でしたが、本コースは海外から日本への招へいおよび、日本から海外への派遣が対象となります。

つきましては、アフリカと日本の若手研究者が共同研究の打ち合わせをする様子、日本の最先端の研究施設を見学する様子、意見交換をする様子などを取材していただきたくお願い申し上げます。なお、実施担当の牟田 修教授へのインタビュー取材もアレンジが可能ですので、ご希望の方は担当者までご連絡くださるようお願いいたします。

【実施内容】 ●共同研究実施に向けた協議（招へい・派遣） ●オンライン交流 ●研究室
および研究施設の見学 ●意見交換 ●技術交流会他

【実施場所】九州大学大学院システム情報科学研究院（伊都キャンパス）他

【研修日程概要】

月日	招へい/派遣/オンライン	内容
1月13日～1月23日	招へい：ジョモケニヤッタ農工大学（JKUAT、ケニア）	九州大学来訪。共同研究実施に向けた協議、研究室・研究施設見学、技術交流会
1月18日～1月30日	招へい：エジプト日本科学技術大学（E-JUST）	同上
2月	オンライン	3校によるオンライン交流
3月初旬	派遣：九州大学→ケニア	JKUAT 来訪。共同研究実施に向けた協議
2月下旬～3月上旬		報告書作成の準備と取りまとめ作業

■本件に関する取材申し込み・お問い合わせ先

九州大学 大学院システム情報科学研究院 牟田 修

■国際青少年サイエンス 交流事業（さくらサイエンスプログラム）に関するお問い合わせ

JST さくらサイエンスプログラム推進本部企画運営室

https://form2.jst.go.jp/s/kouhou_form（担当：太田）